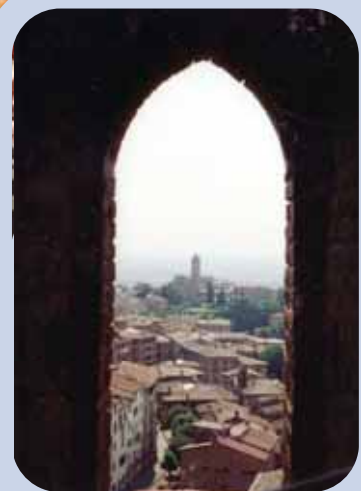


世界の国を知る 🌍 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 イタリア共和国 



【表紙の写真】

フィレンツェのお祭りの様子(左上)

トスカーナ州シエナの町並み

(マンジャの塔からの眺め)(右下)

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜイタリア共和国?

第1章 イタリアってどんな国?

= 世界中を魅了する、美・食・愛あふれる国 =

- 05 クイズ100人に聞きました!
- 07 *Meraviglioso!!* スゴイぞイタリア!
- 09 *Mangiare!!* イタリアを食べよう!
- 11 *Viaggiare!!* イタリアを旅しよう!
- 13 *Vivere!!* イタリア人になってみよう!
- 15 ちょっとブレイク イタリアの教育制度とイタリアの行事

第2章 へえ～！イタリアと日本

- 17 探してみよう、日本の中のイタリア
- 19 比べてみよう、二つの国
- 21 ちょっとブレイク 街歩きフォトアルバム

第3章 一緒に考えよう！こんな課題

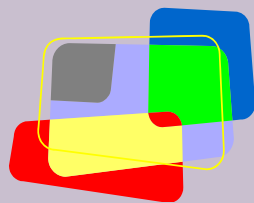
- 23 違いについて考えよう。～その1～
- 25 違いについて考えよう。～その2～
- 27 想像しよう、創造しよう、未来。
- 29 ちょっとブレイク
イタリア人ってどんな人？ イタリア人の国民性

第4章 そして未来へ

- 31 『多文化共生社会』ってどんな社会?
- 32 号外|号外! 20年後の新聞です
- 33 多文化共生社会と地球的課題

参考資料

- 35 目で見るイタリア
- 37 イタリア地図
- 39 「イタリアってこんな国」ふりかえりシート
- 40 「地球の未来を創る」シート
- 41 参考文献・データ等の出典
- 41 ご協力いただいた方たち
- 41 2008年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

人の顔が見える教材をつくりたい！

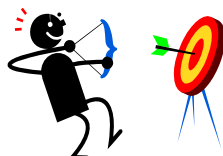
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター(参加型プログラムの進行役)や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしてください。

きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、イタリアのほんの一面です。本書だけでイタリアのすべてがわかるわけではありません。イタリアに親しみを感じ、関心をもってもらおうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

使い方は自由です


とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者に合わせアレンジしてください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。













カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



	参加型のプログラムです。必要に応じてコピーし、配布してください。		プログラムで模造紙を使います。
	プログラムに関する説明です。ファシリテーター・先生用です。		プログラムでマジックを使います。
	プログラムのねらいです。		プログラムで付箋を使います。
	ちょっとブレイク一口コラムです。		プログラムでA4用紙を使います。裏紙等を活用してください。
	プログラムに使う資料です。必要に応じてコピーし配布してください。		データ等の出典です。
	コピーし、カード等に切り離して使ってください。		写真の撮影者です。

なぜイタリア共和国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国防レンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国(日本を除く)のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国防レンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけでなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国防レンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。

そして、イタリア共和国のホームシティは、一宮市でした。



：本教材
：2008年度教材作成の国
：2007年度教材作成の国
：愛知万博公式参加国

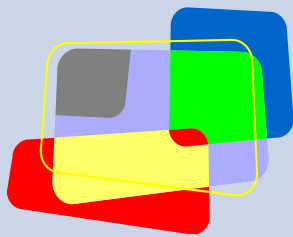
愛知万博 / イタリア館

 第1章

イタリアってどんな国？

= 世界中を魅了する

美・食・愛あふれる国 =



クイズ100人に聞きました。

① ところで、みなさんはイタリアのこと、どのくらい知っていますか？

1 イタリア共和国はどこにあるでしょう？ ここだと思ふ国に色を塗ってください。



2 イタリアと日本では、似ている点がいくつかあります。
それはどんなことだと思えますか？ 思いついたものを書いてください。

3 イタリアには何がある？
建物や山の名前など、何でもいいので知っているものをすべて書いてください。

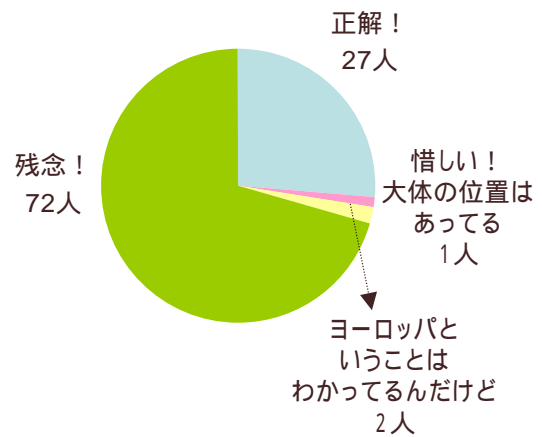
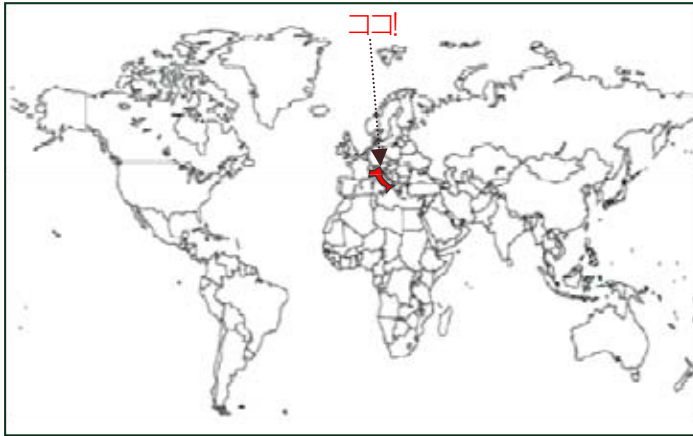


同じ質問を、一宮市の小学生102人に聞いた結果は次のようになりました。



まずは「知らないこと」に気づくことから始めましょう。

イタリアはどこ？



アフリカ、メキシコ、北アメリカとまちがってしまった人が何人かいました。普段使い慣れている日本が真ん中の地図ではなかったし、小さいのでわかりにくかったですね。

そんな中で27人の正解はスゴイ！

イタリアと日本の似てる点は？

小学生のみなさんは、こんな答えを出してくれました。

面積(両方とも小さい) (22) / 気候 (10) / 人口 (8) / 食べ物 (6) / ピザを食べる (5) / 四季 (5) / 国の形 (5) / スポーツ (5) / パスタを食べる (4) / 世界遺産 (3) / 着ているもの・服装 (2) / 生活 (2) / 有名な建物がある (2) / 海がある (2) / 島がいくつかある / 火山国 / 地形 / 北海道と同じ緯度の位置にある / 海に接している部分が国の大きさに比べて大きい / 北海道の大きさや形が似ている / 北海道のように離れたところに島がある / 日本とイタリアは近い / イタリアには山がある / 人がいること / 暮らしが豊か / 健康 / 建物が多く立ち並ぶ / イタリア人も日本人も少しが他の国に行ったりしている / 通貨 / 政治 / 民衆 / 車があること / 学校があること / シャベる発音 / サッカーのユニフォームが国旗にない色を使用 / 似ている意味の諺がある / 車の工場 / 12月にクリスマスがある / 祝祭日があるところ / ワインを飲むところ / タコを食べること / 和食が好き

イタリアには何がある？

ちょっと難しかったかな？

アルプス山脈 (5) / レオナルド・ダ・ヴィンチ (3) / ポーナ川 / ペルッセナ川 / モンブラン山 / イタリア山 / カプリ島 / 青の洞窟 / ジョアキーノ・ロッシーニ / マルディーニ

Meraviglioso!! スゴイぞイタリア!

① 次のカードはイタリアについて書かれています。これってウソ?ホント?



① イタリアには、直径30cmの巨大ソーセージがある!?



② イタリアでは、酢をアイスクリームにかけて食べる!?



③ イタリアには、サンタクロースのおじさんのように、プレゼントをくれるお婆さんがいる!?



④ イタリアには、国土の中に別の独立した国が2つもある!?



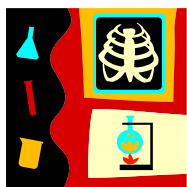
⑤ イタリアは、世界遺産の登録数が世界NO.1!?



⑥ イタリアでは、2000年以上前の道を今でもそのまま使っている!?



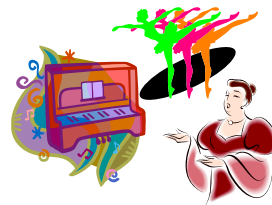
⑦ イタリアでは、世界で初めて人体解剖が行われた!?



⑧ イタリアは、世界で初めて透明なガラスの製造に成功した!?



⑨ バレエ、オペラ、ピアノ、すべてイタリアで生まれた!?



⑩ レオナルド・ダ・ヴィンチは、「ヴィンチ村のレオナルド君」という意味だ!?



⑪ 世界で初めて天体望遠鏡を作ったのはイタリア人!?



⑫ ヨーロッパに初めて日本を伝えたのはイタリア人!?



かばんに入るサイズの本を初めて作ったのはイタリア人。ヴェネツィアの印刷業者アルド・マヌーツィオが、八折判(160×110mm)というサイズを発案。それに伴って印刷に適した活字も発明していきました。



Meraviglioso (メラビリオソ)！！ = すごい！！

P.7のこたえと解説です。



イタリアとはどんな国か、まずはクイズ形式でざっくりつかもう！

- 1 **ホント** モルタデッラというソーセージ。サイコロ状の豚脂の塊が入った、とても美味しいソーセージです。
- 2 **ホント** ぶどう果汁を酢酸発酵させたバルサミコ酢というお酢。12年以上熟成させたものはとても高価でぶどうの果汁が凝縮され、バニラアイスや果物などにかけて味わいます。
- 3 **ホント** その名も「ベファーナおばさん」。1月6日のエピファニアの日に、プレゼントをくれます。
- 4 **ホント** ヴァチカン市国 (世界一小さな独立国) と、サンマリノ共和国 (世界一小さな共和国) があります。
- 5 **ホント** イタリアの世界遺産登録数は、44 (バチカン市国、サンマリノ共和国を含む)。水の都ヴェネツィアは、世界で唯一、市全体が登録されています。(2008年現在)
- 6 **ホント** 古代ローマ時代に造られた道路が今も使われ、生活の中に歴史が生き続けています。
- 7 **ホント** ヨーロッパ最古のボローニャ大学にて行われました。そのとき使われた解剖台は、今も大学内に残されています。
- 8 **ホント** ルネサンス期にヴェネツィアの工房で作られ、その後のガラス工芸に大きな影響を与えました。
- 9 **ホント** バレエ…ルネサンス期、宮廷での余興として生まれました。その後フランスへ伝わり劇場のダンスへ、ロシアへ伝わりクラシックバレエへと発展していきました。
オペラ… 17世紀初頭のフィレンツェにて、古代ギリシャ悲劇の復興を試みた芸術家と貴族の間で生まれました。舞台美術もまた、フィレンツェで生まれています。
ピアノ… 18世紀初期、クリストフォリというチェンバロ奏者がハンマー仕掛けで弦を打って鳴らす方法を発明し、現在のピアノの原型となる楽器を作りました。
- 10 **ホント** ヴィンチ村のレオナルド君です。フィレンツェの近くの、トスカーナ州にある小さな村で生まれました。
- 11 **ホント** 地動説を唱えた天文学者、ガリレオ・ガリレイが作りました。宗教による考え方が当たり前とされていた当時、科学の理論を実験によって証明していった最初の人物です。
- 12 **ホント** ヴェネツィアの商人で旅行家のマルコ・ポーロが、「ジパング」という名で初めて紹介したとされています。この「ジパング」は「ジャパン」の語源になっています。

こたえはすべてホント！何で??

だって、ウソをつくとも鼻が伸びてしまうから！

『ピノキオ』は、イタリアの作家カルロ・コッローディの童話作品で、1883年に最初の本が出版されました。以来、映画やアニメにもなり、トスカーナ州には物語に沿ったオブジェがあるピノキオ公園もあります。

100年以上にわたって愛されているピノキオ。この機会に、文学の面からイタリアに触れてみてはいかがでしょうか。新しい世界、新しい発見が待っているかもしれません。読み聞かせや、みんなで映画を観るのもいいですね！



アメリカ大陸を発見したのもイタリア人。「コロンブスの卵」で有名な冒険家、クリストファー・コロンブスです。イタリアは他にも、その後に影響を与えた多くの歴史上の人物を生み出しています。

Mangiare!! イタリアを食べよう!

① イタリア料理といえばどんなものを思い浮かべますか? 食文化をのぞいてみよう!

1 日本でもポピュラーなパスタ。その種類は300以上あるといわれており、それぞれに名前が付いています。どんな名前が付いているのでしょうか。形から考えてみましょう。



2 イタリアの料理はバラエティ豊か。地形や気候、歴史から生まれた郷土料理が各州にあります。ヒントを基に、どの州の料理か当ててみてください。

- まずはP.11の地図にヒントカードを置きましょう。
- 次に、食べ物カードを、ここだと思うところに置いていきましょう。



ヒントカード

ピエモンテ州

- ポー川流域は稲作がさかん
- 野山の幸を活かした料理が多い

ロンバルディア州

- 牛の飼育や酪農がさかん
- 乳製品の種類が豊富

リグーリア州

- 中世の時代、中近東との貿易で栄えていた。南の地方からの影響を受けている

エミリア・ロマーニャ州

- 広い平野での畜産や酪農がさかん
- 濃厚な料理が多い

トスカーナ州

- 農業がさかん
- 素材の持ち味を活かした実質的な料理が多い

ラツィオ州

- 傾斜地では酪農、平坦地では小麦や野菜が栽培されている

カンパニア州

- スペインからトマトが伝わった土地
- 魚介類が豊富

シチリア州

- 海に囲まれている
- アラブ圏から柑橘類や農作物の栽培法が伝わった



食べ物カード

A カポナータ

ナスやたまねぎなどを煮込んだもの



B ファリナータ

エジプト豆の粉にオリーブオイル・塩・水を混ぜて焼いたもの



C 白いんげん豆の煮物



D コトレッタ

仔牛のカツレツ



E リゾット



F カルボナーラ

パンチェッタ(豚バラ肉の塩漬け)がアクセント



G アクア・パツァ

白身魚の水煮



H ボロニエーゼ

ひき肉の煮込みソース、ミートソース





Mangiare(マンジャーレ) = 食べる

P.9のこたえと解説です。



スローフード発祥の地、イタリア。
豊かな食文化に触れ、関心を高めよう。

イタリアといえばパスタ！

1 名前と日本語の意味

A セーミ/種

B アネッリ/指輪

C カペッリ ダンジェロ/天使の髪

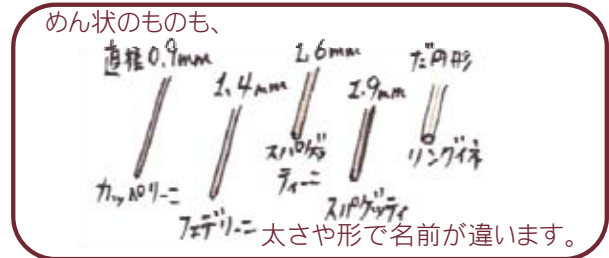
D ファルファッレ/蝶

E ルマーケ/カタツムリ(丸まった貝の形)

F ペンネ/ペン先

パスタは小麦粉を練って作られたものの総称で、イタリア料理には欠かせない食品。その種類は300以上あるといわれています。

多種多様なパスタですが、ソースや食材によって使い分けられています。よりおいしく食べることへのこだわりが感じられますね。



郷土料理の紹介

2 ピエモンテ州 **E** リゾット

リグーリア州 **B** ファリナータ

トスカーナ州 **C** 白いんげん豆の煮物

カンパニア州 **G** アクア・パッツァ

ロンバルディア州 **D** コトレッタ

エミリア・ロマーニャ州 **H** ボロニエーゼ

ラツィオ州 **F** カルボナーラ

シチリア州 **A** カポナータ

“イタリア料理とは各地の料理の総称”といわれるほど郷土料理の種類は様々。使われる食材も違います。家庭料理は素朴で温かみがあり、そのレシピは家族のなかで受け継がれていきます。おいしい料理を作るマンマ(お母さん)は偉大な存在。どんな豪華なレストランよりもマンマのパスタが一番!なのです。

【イタリア料理の北部と南部の特徴】

	北部	南部
味のベース	バター・クリーム	トマト・オリーブオイル
パスタ類	生パスタ ラザニアなど大きなもの	乾燥パスタ ピッツァ
食材	肉類・米	魚介類・野菜

イタリアの気候は四季の違いがはっきりしているため、季節ごとに旬の食材があります。土地で採れる旬の食材を、素材の持ち味を活かした料理方法で味わいます。また、南北に長い国土から、北部と南部での特徴もあります。食材との付き合い方、地域によって特徴があるということ、日本と似ていませんか?

特産物の紹介

料理と同じく、各州に特産物があります。こちらバラエティ豊かです!

チーズはチーズでも...



カンパニア州の
モッツァレラ

ラツィオ州の
ペコリーノ・ロマーノ

ワインはワインでも...



トスカーナ州の
キアンティ クラシコ

ピエモンテ州の
モスカート・ダスティ

ドルチェ(甘いもの・お菓子)はドルチェでも...



シチリア州の
カンノーリ

ロンバルディア州の
パネトーネ



イタリアでは、日本にあるような「イタリアンドレッシング」が用意されていません。オリーブオイル・ワインビネガー・塩・コショウの調味料セットがテーブルに用意されており、自分の好みでパンにつけたりサラダにかけたりします。

Viaggiare!! イタリアを旅しよう!

? 今度のお休みに、イタリアへ行くことにしました。さあ、旅の計画を立ててみよう!

20の州と2つの国には見所が盛りたくさん!どんな小さな町にも観光案内所があり、旅人を受け入れてくれます。遺跡めぐり?美術館めぐり?食べ歩き?自然体験?キミならどんな旅にする?

(州の名前 / 州都)

ロンバルディア州 / ミラノ

洗練されたファッションと遺跡が同居する州。バイオリンの街として有名なクレモナがある。

ヴァッレ・ダオスタ州 / アオスタ

イタリアで一番小さな州。州内すべての電力を風力発電でまかなっている。

ピエモンテ州 / トリノ

スローフード発祥の街ブラがある。赤ワインや高級キノコトリュフで有名。

リグーリア州 / ジェノヴァ

海岸に、リゾート地から小さな村、世界遺産までが並ぶ。バジルソース「ジェノヴェーゼ」が美味。

トスカーナ州 / フィレンツェ

芸術都市の宝庫で、屋根のない博物館。街を歩けば中世の時代にタイムスリップしたよう。

ウンブリア州 / ペルージャ

イタリアの「緑の心」と呼ばれる州。オルヴィエートのドゥオーモ(大聖堂)の美しさは必見。

サルデーニャ州 / カリアリ

透き通った青い海「コスタ・ズメラルダ」は、エメラルド海岸という意味。その名の通りの美しさ。

ラツィオ州 / ローマ

永遠の都ローマはもちろん、周辺の小さな町や村も魅力たっぷり。

カンパニア州 / ナポリ

スペインからトマトがやってきた。パスタもピッツァも、ここから始まった。

シチリア州 / パレルモ

古代遺跡、海の幸、リゾート地、素朴な人々、自然...ひとつの島に魅力が満載!!



中世の衣装を身にまとった祭



カトリックの総本山
ヴァチカン市国




丘の上の小さな国
サンマリノ共和国



イタリア全土にて、『アグリツーリズム』という体験型の旅の形があります。アグリ(農業)とツーリズム(旅行)がひとつになった、地元農家が提供する宿泊施設。農業体験や料理教室などが体験できます。

Viaggiare(ヴィアッジャーレ) = 旅行する
 観光はイタリアの主要産業。世界中から観光客が訪れます。

 旅の計画を立てることで、実際に行ってみたい!という気持ちにつながる。



トレンティーノ = アルト・アディジェ州

ドロミテ山塊やガルデーナ渓谷。雄大な自然の中で
 のキャンプ、ハイキング、スキーを体験!

ヴェネト州 / ヴェネツィア

車が入れないヴェネツィアでは、徒歩やゴンドラで
 移動。周辺の島々へは水上バスに乗って。

フリウリ = ヴェネツィア・ジュリア州 / トリエステ

オーストリアの影響を受けた建築物が目を引き。
 一味違う美しさ。

エミリア・ロマーニャ州 / ボローニャ

パルマの生ハム、ポロニエーゼ、ソーセージ。
 おいしいもの満載、美食の州。

マルケ州 / アンコーナ

白砂と遠浅の海が続く港町。夏に開かれる野外オ
 ペラが音楽ファンをひきつける。

アブルッツォ州 / ラクイラ

雄大な山々があり自然の宝庫。アブルッツォ国立公
 園で野生動物に会おう。

モリーゼ州 / カンポバッソ

山とお城と海の州。自然のなかでゆったり過ごそう。

プーリア州 / バーリ

とんがり屋根の家「トゥルツリ」が並ぶアルペロベッロ
 は、まるで絵本の世界のような街。

バジリカータ州 / ポテンツァ

旧石器時代やギリシャの遺跡が残る。中でも谷の
 斜面に形成された洞窟住居群サッシは見所。

カラブリア州 / カタンザーロ

2つの海に挟まれている。青い海と岩壁の教会の組
 み合わせにうっとり。



交通機関は、鉄道、中遠距離バスの路線が全土を網羅しています。それに対して、地下鉄はあまり発達していません。
 地下を掘ると遺跡が出てくるため、作りにくいのです。

Vivere!! イタリア人になってみよう!

① イタリアの昔と今を考えてみよう。



① まずはイタリアのなりたちを覗いてみましょう。



左の写真は、ローマをつくったといわれている双子の兄弟・ロムルスとレムスの像です。

さて、この二人にはどのような物語があるのでしょうか…?

物語を作ってみてください。

② では、現代イタリアはどのような暮らしなのでしょう。年間の行事から考えてみましょう。下図のような1年の表を作り、まずは日本の出来事(行事・祝祭日・地域のお祭りなど)を書き出してみてください。次にイタリアにはどんな出来事があるかを考えて記入してみましょう。

日本・自分のまち	イタリア
	1月
	2月
	3月
	4月
	5月
	6月
	7月
	8月
	9月
	10月
	11月
	12月

③ イタリアと日本の一年、比べてみてどんなことが分かりましたか?

- 気づいたことを書き出してみましょう。筆記具はボールペンを使ってください。
- どんなことに気づきましたか?自分なりの感想を口頭で発表してください。



学校では、校外授業も多く行われます。歴史や美術の教科書が、身近ないたるところにあるのですから!



Vivere(ヴィーヴェレ) = 住む。暮らす。

P.13の解説です。



イタリアのなりたちと現代の暮らしに触れ、関心をもてる。同時に日本の暮らしを振り返る。

ローマの伝説

① 赤ん坊のころに捨てられたロムルスとレムスという双子の兄弟。二人はメスのオオカミに拾われて育てられました。あるとき、一人の羊飼いがオオカミと一緒にいる二人を見つけます。家へ連れて帰り、自分の子どもとして育てました。やがて二人は、自分たちが見つめられた場所に町をつくらうと決めます。しかし言い争いとなってしまう、ロムルスがレムスを殺してしまいます。ロムルスは新しくできた都市の王となり、このロムルスの名を取って、町は「ローマ」と名付けられました。

イタリアの一年

② 四季の違いがあるイタリアでは、季節とともに一年を過ごします。昔から受け継がれている伝統的な祭りが各地に残され、自分の町を愛する気持ちにつながっています。また、祝祭日のほとんどは宗教に由来し、各町の守護聖人の日はその町の祝日になります。

夏のバカンスもメインイベントの一つ。学校は6月中旬から9月中旬までの約3ヶ月が夏休み。家族で別荘などのセカンドハウスで過ごしたり、海や山へ出かけたり。一ヶ所に長期滞在して、のんびりと過ごします。

【イタリアの年間行事】 ※詳細はP15参照。祭りは全土に行われるもののみ記載。

	祝祭日	祭り	行事
1月	1日／元旦		・冬のバーゲン(～2月下旬)
	6日／御公現の祝日		
2月		・謝肉祭(2月下旬～3月上旬)	・サン・レモ音楽祭
3月	復活祭の翌日／復活の月曜日	・復活祭(3月下旬～4月下旬、春分後の最初の満月の次の日曜日に行われる)	・サマータイム開始(最終日曜～10月最終日曜まで)
4月	25日／イタリア開放記念日		・F1サンマリノグランプリ
5月	1日／メーデー(労働記念日)		・海水浴開始(後半～)
6月	2日／イタリア共和国創設記念日	・オペラフェスティバル(～8月)	・聖体拝領式 ・夏のバーゲン(～8月中旬) ・ミラノコレクション
7月			・バカンスシーズン
8月	15日／聖母被昇天祭		・トマトソース作り
9月		・収穫祭(栗・きのこ・トリュフ・ワインなど) ↓	・ヴェネツィア国際映画祭 ・F1イタリアグランプリ ・サッカープロ1次リーグ「セリエA ※」開催(～翌年5月)
10月			・自家製ワイン仕込み
11月	1日／諸成人の日	・オペラシーズン到来	・オリーブ収穫
12月	8日／聖母マリア受胎日		・クリスマスイルミネーション
	25日／クリスマス		
	26日／聖ステファーンの日		

※サッカーリーグ「セリエA」は、「セリエアー」と読みます。

イタリアの学校教育

③ イタリアの学校教育では、自分の意思を發表することが求められます。自分の言葉で主張することを訓練するため、小学校から口頭による試験が行われます。また、注意力を養うため、子どもからボールペンを使用します。



時間割りの中にはカトリックの歴史や道徳を学ぶ宗教の授業もあります。宗教が違う場合は受けなくてもよく、別の部屋で環境など宗教以外のことを学んだり自習をしたりします。



ちょっとブレイク

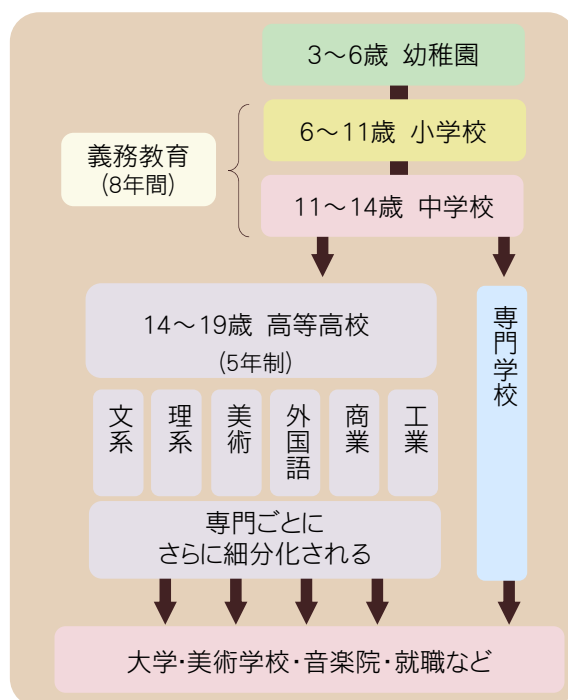


イタリアの教育制度

イタリアでは近年、教育改革が進められており、義務教育の延長、IT教育の強化、英語教育の強化が主に検討されています。中学校卒業後は、就労をしながら見習いという形で職業教育を受けるシステムがあり、希望によっては高校を辞めることも可能です。

教育の現場では、教師一人ひとりの教え方が尊重され、教育権限も地方に委ねられています。これは、古代より各都市が主張をしながら国家を築いてきた歴史が背景にあるといえます。

高校、大学への入試はありませんが、小・中・高とも各最終学年に修了試験があり、特に全国共通の高校修了試験は重要視されています。これに合格すると大学入学資格が得られ、ほとんどの大学に無試験で進学することができます。ただし、大学は入学してからのほうが厳しく、卒業できるのは少数です。



イタリアの行事 []内はイタリア語名

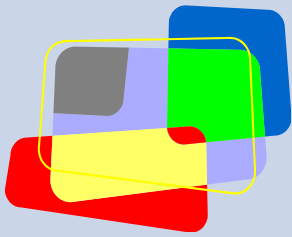
元旦[カポダンノ]	大晦日の夜に家族そろって食事をし、午前0時と同時に乾杯をして新年を祝う。「豚足とレンズ豆の煮込み」という正月料理があり、豆はコインの形をしていることから、元旦に食べると一年間お金に不自由しないとされている。
御公現の祝日[エピファニア]	星のお告げでキリストの生誕を知った東方の三博士が、キリストが生まれた馬小屋を訪ねたとされる日。この日の夜、魔法使いの“ベファーナおばさん”が子供たちに贈り物(よい子にはプレゼント、悪い子には炭)を持ってくる。
謝肉祭[カルネヴァーレ]	復活祭までの40日間の断食に備えて宴を開いたのが始まり。町ごとにカルネヴァーレ(カーニバル)が開催され、中でもヴェネツィアの仮装は有名。「カルネ:肉+レヴァーレ:取り去る」という意味で、直訳すると「肉断ち」。
復活祭[パスクァ]	十字架にかけられたキリストが三日目に復活したことを祝う日。鳩の形をした「コロンバ」というお菓子や、中におもちゃが入ったタマゴ型のチョコレートがお菓子屋さんに並ぶ。
復活の月曜日[パスクエッタ]	復活祭の翌日は祝日となる。
聖体拝領式[プリマ・コムニオーネ]	正式にカトリック教徒になるための儀式。10歳ごろに受ける。
聖母被昇天祭[フェラゴスト]	聖母マリアが天に召されたとされる日。
諸聖人の日[オニッサンティ]	すべての聖人のための祝日。菊の花を持って先祖のお墓参りをする。
聖母マリア受胎日 [イマコラータ コンチェツィオーネ]	聖母マリアが精霊によってイエスを身ごもったとされる日。
クリスマス[ナターレ]	「ナターレ」とは「生まれる」という意味のイタリア語から派生したもの。ローマ暦で太陽が生まれた日であり、キリスト生誕の日とされている。プレゼーピオというクリスマス飾りをして、家族そろってゆっくり過ごす。
聖ステファーンの日	ナターレの翌日は祝日となる。



エピファニアの日の夜、子供たちはベッドに靴下をつるして眠ります。翌朝起きると、お菓子と炭(の形の砂糖菓子)が入っています。誰でも1年に1回は悪いことをしているだろうから、戒める意味で炭を入れるのです。

 第2章

へえ～！イタリアと日本



探してみよう、日本の中のイタリア

① イタリア語ってどんな言葉? まずは触れてみよう。

① ヨーロッパの「こんにちは」を集めてみました。さて、イタリア語はどれでしょう?

A ボン ジョールノ
Buon giorno!

B ブエノスディアス
Buenos dias!

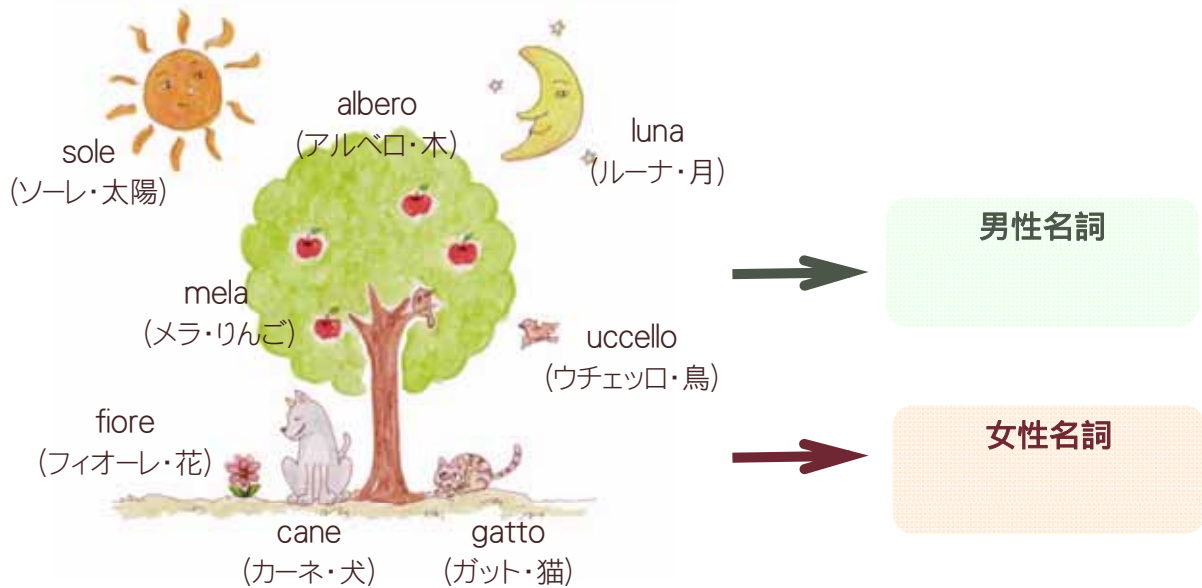
C ブナ ズィウワ
Buna ziu!

D ボン ジュール
Bon jour!

E ボア タルジ
Boa tarde!

F ボン ディア
Bon dia!

② イタリア語の名詞には性別 (男性名詞と女性名詞) があります。下の単語はどちらでしょうか。分けてみましょう。



③ では、日本の中のどんなところにイタリア語はあるのでしょうか? 車を例にとって探してみましよう。次の日本の車の名前のうち、イタリア語だと思われるものを選んでください。()内は日本語の意味です。

<p>車の名前(意味)</p> <p>パッソ (足音)</p> <p>タント (たくさん)</p> <p>アルト (優れた)</p> <p>ムラーノ (島の名前)</p> <p>セッテ (7)</p> <p>グランディス (雄大)</p> <p>フィット (ぴったりの)</p>	➔	<p>イタリア語</p>
--	---	---------------------



日本でも人気の高いケーキ「ティラミス」。「Tiramisu」を分解すると、tira + mi + su 「私を上を引き上げて」という意味になります。すなわち、「元気にさせて!」という意味なのです!



P.17のこたえと解説です。



言葉は文化。その国のことを知るための入り口。イタリア語に触れることで、より身近に感じてもらう。

- 1 **A** ボン ジョールノ **が**イタリア語。 Buon (ボン)は良い、 giorno (ジョールノ)は日、という意味です。
 そのほかは、 **B** スペイン語 **C** ルーマニア語 **D** フランス語 **E** ポルトガル語 **F** カタロニア語 です。

異なる6つの国の挨拶ですが、どこか少し似ていると思いませんか?たとえば「B」で始まる場所。6カ国語とも、古代西ローマ帝国で使われていたラテン語が基になっているからです。帝国が領土を広げるとともに、言葉や文化も広がっていきました。系統が違う英語・ドイツ語・ロシア語も、ラテン語の影響を受けています。私たちが普段接している英単語の多くも、もとをたどるとラテン語、すなわち、ローマ文化にたどり着くことになるわけです。

古代ローマ帝国地図



- 2 答え合わせをしたら、何か規則があるかどうかを探してみてください。

男性名詞

sole (ソーレ・太陽)
 gatto (ガット・猫)
 albero (アルベロ・木)
 uccello (ウチェッロ・鳥)
 fiore (フィオーレ・花)

語尾が[o] [e]で終わるもの

女性名詞

luna (ルーナ・月)
 mela (メラ・りんご)
 cane (カーネ・犬)

語尾が[a] [e]で終わるもの

イタリア語の単語は、語尾が[o] [a] [e]のどれかで終わる3種類。表のように、語尾によって男性名詞と女性名詞に分けられます。[e]は見るだけではどちらか分かりませんが、どちらかに決められています。また、例外もあります。これらは覚えるしかありません。

3

車の名前(意味)

グランディス (雄大)
フランス語
 フィット (ぴったりの)
英語



イタリア語

パツ (足音)
 タント (たくさん)
 アルト (優れた)
 ムラーノ (島の名前)
 セッテ (7)

イタリア語の母音は日本語と同じ[aア eエ iイ oオ uウ]。細かな音の違いや例外はありますが、基本的にはカタカナ読みでOK。読みやすく聞き取りやすいため、車以外にも雑誌の名前や建物の名前など、様々な場面でイタリア語が使われています。反対に、イタリアで使われている日本語もあります。[大根] [柿] [漫画]などがそうです。ポッキーは「MIKADO (ミカド)」という商品名で売られています。

また、現在使われている音楽用語の多くはイタリア語です。音楽の教科書を開いて、イタリア語を探してみましょう!



イタリア語は、語尾を置き換えると意味が規則的に変化します。

forte (フォルテ・強く)に最上級を表す[-issimo]をつけるとfortissimo (フォルティッシモ・非常に強く)という具合です。

比べてみよう、二つの国

① 似ている? 違う? イタリアと日本!

① 二つの国を見比べて、似ていること、違うことを話し合ってみましょう。



② それぞれの項目について、どちらが多いでしょうか、少ないでしょうか、それとも同じぐらいでしょうか。想像して等号・不等号「<」「>」「=」を入れてみましょう。

	イタリア	日本
人口	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国土面積	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
気温(4月・ローマと東京)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一番高い山の標高	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
世界遺産の登録数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
森林率	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

等号・不等号を入れてみよう!

森林率=国土面積を占める森林面積の割合。

③ 二つの国を比べてみてどうでしたか?

イタリアと日本は飛行機で約12時間。距離にすると遠い国ですが、実はいくつか共通点があります。他にもないかどうか、調べてみましょう。





イタリアは、国の形から「長靴の形の国」と言われています。場所を説明するとき「かかとの部分」「つま先の部分」などと言えば分かりやすいですね。



① イタリアの国土面積は日本の約5分の4。北海道を除いた面積とほぼ同じです。両国とも縦に長い地形で、中央に山脈が走っています。川は、高い山から流れる急な川が多いと言えます。また、ローマと函館は同緯度に位置していますが、気候がよく似ています。

②

	 イタリア		 日本
人口	5,805万人	<	12,800万人
国土面積	301,000km ²	<	377,887km ²
気温(4月・ローマと東京)	14.4℃		13.6℃
一番高い山の標高	4,808m(モンブラン)	>	3,776m(富士山)
世界遺産の登録数	44(内、自然遺産1)	>	14(内、自然遺産3)
森林率	34%	<	68%

③ この教材の中でいくつか共通点は出てきましたが、ほかにも、火山があるため地震が多い、温泉がある、近代国家へ歩みだした時期が同時期(1860年代)、地下資源が少ない、人口が減少し少子高齢化が進んでいる、人口の都市集中が起きている、地方が過疎化し休耕地が増えている、などがあります。

イタリアと日本のつながり

イタリアと日本は1954年に文化協定が結ばれ、交流を深めています。市町村単位のつながりも多く、現在34ヶ所が姉妹友好都市の関係にあります。

その一部を紹介します。

イタリアの町	日本の町	共通点・つながり
モンティチェリ	青森県田子町	両市ともににんにくの生産がさかん
マロスティカ	山形県天童市	天童市は将棋、マロスティカはチェスで有名
アバノテルメ	群馬県伊香保町	両市ともに温泉で有名
ピストイア	岐阜県白川町	白川町在住の辻宏氏がピストイアの教会のパイプオルガンを修復したのがきっかけ
リエティ	静岡県伊東市	伊東市にはタライで、リエティにはワイン樽で川を下る祭りがある
フィレンツェ	京都府京都市	古都というイメージが似ている

絵本で交流！ ボローニャ市と東京都板橋区をつなぐ

「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」



↑ 掲示板の様子

ボローニャ市で毎年開かれている、世界で唯一の子どもの本専門見本市。板橋区立美術館で日本での第1回原画展が開催されて以来、両都市は交流が続き、2005年には友好都市となりました。ボローニャでは見本市と同時に原画コンクールが開催されます。子どものために作られた作品であれば誰でも応募することができ、日本人もたくさん入選しています。





ちょっとブレイク 街歩きフォトアルバム

～イタリアの街角風景を紹介します。～



日曜市にて。チーズ屋。



こちらは花屋。いろんな種類の屋台が出ます。



日曜市と同じ広場で、夜に骨董市が開かれていました。



家には中庭があります。集合住宅でも同じ。



アドリア海岸沿いの景色。



坂道でも足の長さで調節。キオスク。新聞などを売っています。



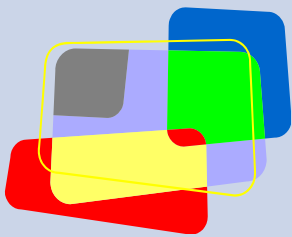
町を彩るベランダの花々。



自転車が気持ちいい並木道。

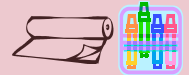
 第3章

一緒に考えよう！こんな課題



違いについて考えよう。～その1～

① 差があるってどういうこと？ 4～6人のグループに分かれて考えてみましょう。



1 イタリアの、違う二つの町に住んでいる二人の少年ノルドとスッド。まずは二人の暮らしを読んでみてください。



ノルド

ぼくの名前はノルド。僕の町は昔、外国との交易でお金持ちだったんだって。そのお金で絵とか彫刻がたくさん作られたんだ。僕はパスタも好きだけどお米も大好き。大きな川があるから、お米とかトウモロコシとか小麦とか、なんでも作れるよ。あと、自動車を作っている工場があって、ほかの町からも人が働きに来ているよ。

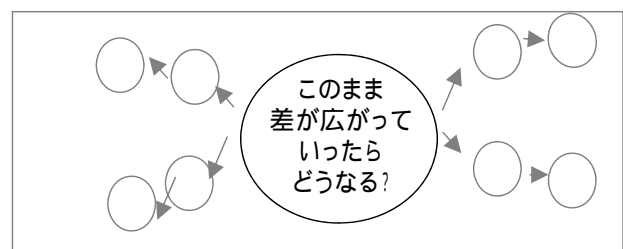
スッド

ぼくの名前はスッド。僕のまちは昔、ほかの民族に支配されていた時代が長かったんだって。だから、町にはいろんな文化が混ざっているよ。そういえば、産業といえるものがあまりない。働く場所が少なくて、仕事につけないこともあるみたいだ。家の畑を捨てて、他の町に行ってしまう人もいるよ。空き地が増えていくんだ。

2 二人の暮らしの間には、どのような差がありますか。グループで模造紙を1枚ずつ用意します。比較できる表を作り、気づいたことを書き出していきましょう。

ノルドの暮らし	スッドの暮らし

3 このまま二人の差が広がっていったらどうなるでしょうか？二人にどんなことが起きるかを考えてみてください。グループで模造紙を1枚ずつ用意して、真ん中に「このまま差が広がっていったらどうなる？」と書いてください。そこから、どんなことが起きるか、さらにそれがどんなことを起こすのかを派生させて考えてみましょう。



4 では、二人の差を埋めるにはどうしたらよいでしょうか。解決方法を考えてみてください。



南北格差問題

この二人の暮らしは実は、イタリアの北部と南部の状況を説明したものです。ノルドの暮らしはイタリア北部の、スッドの暮らしはイタリア南部の状況です。(ちなみに、ノルドはイタリア語で北、スッドは南という意味です。)

【南北の違いの特徴】

歴史

北部: 14世紀にフィレンツェで起きたルネサンスで発展した。港町ジェノヴァやヴェネツィアでは外国との交易で栄え、その富で芸術家たちのパトロンになった。

南部: 長い間外国の支配下だったため、自治権を持った都市が発達しなかった。

土地

北部: 平野が広がり、それを横切るようにイタリアーの大河ポー川が流れる。

南部: 山地が多く、農業に適した土地が限られている。

産業

北部: 農業、工業ともに発達している。イタリアを代表する自動車工場がある。

南部: 工業化が遅れている。製鉄所があるが、生活水準を引き上げるには至らない。

南部と北部の歴史的な背景による経済格差「南北問題」は長年の課題とされ、それに関連した問題を抱えています。

- ・南部から北部の工業地帯へ人口が流出し、そのために捨てられる土地が増えている。
- ・失業率が南部に集中している。
- ・北部に工業地帯が集中することによって自然環境の悪化が心配されている。
- ・北部の工業廃棄物を南部で不法廃棄するといったゴミ問題が起きている。

取り組みと課題

南イタリアでの青年の失業を解決するため、青年の起業の支援を目的とした法律が制定されました。仕事を手にするため、融資、補助金、技術援助、職業訓練などで支援し、起業にあたっては企業形態を自由に選択できるようになっています。従来の保守的な取り組みとは違う、青年の起業家としての成長を、政策と行政が支援するものであるという点で注目されています。

イタリアの協同組合の全国組織「レーガコープ」は、1990年代より、南部の開発に積極的に取り組み始めました。スーパーマーケットなどの大型施設を建設するなど、労働の場を提供する計画を立てています。

長年の課題ゆえ取り組みはなされていますが、「失業者」という緊急の問題に対応できていないという課題があります。取り組みによって雇用は増えたものの、大量の失業者を救うには程遠く、問題を解決するまでには至っていません。

わたしたちの暮らしは??

それでは、わたしたちの国、日本はどうでしょうか。

- ・「格差」について、聞いたことがあること、知っていることはありますか?
- ・それはどんなことですか?話し合ってみましょう。
- ・なぜそれが起こったのでしょうか。
- ・それを解決するにはどうしたらよいでしょうか。

問題を解決するためには、何ができるか、考えてみましょう。

違いについて考えよう。～その2～

① これって普通？ 普通じゃない？ 意見を出して話し合ってみましょう。

① 「イタリアあれこれ」、これって普通？ 普通じゃない？ 意見を出して話し合ってみましょう。

1. 朝ごはんはビスケットと飲み物だけだ。
2. コーヒーにはお砂糖をたっぷり入れる。
3. 夏の間はサマータイムがある。
4. 麺類はすすらない。
5. ハンカチで鼻をかむ。
6. 人前でクツを脱がない。
7. 男の人同士でも、挨拶でほほにキスをする。
8. ピザにタバスコはかけない。

② どうでしたか？

わたしたちにとって、少しヘンだなと思うことがあるかもしれませんが、すべてイタリアではごく普通のことです。今度は「日本あれこれ」をやってみましょう。これって普通？ 普通じゃない？ 意見を出し合ってみてください。

1. 目玉焼きにはしょうゆをかける。
2. 朝ごはんは、いつもパンだ。
3. 相撲と野球なら相撲が好き。
4. ケーキとお団子なら、お団子が好き。

③ 自分では普通だと思ってることや考えかたを否定されたとき、どんな気持ちになりましたか。

④ 普段の生活の中で、自分と人が違う意見だったとき、あなたは どうしますか。考えてみましょう。



差別問題

イタリアには「ロマ」といわれる移民民族が暮らしています。ロマというだけで移動生活者、放浪者とみなされ、犯罪や治安悪化を招くと考えられています。

イタリア当局は、公衆治安上の懸念に基づいて、国外に追放できる政令を発効しました。これによって100名以上のロマが、国外に追放されました。ローマとミラノの両市長が、さらなるロマの国外退去を見込み、治安協定に調印しました。イタリア当局は、国際人権基準に背くにもかかわらず、大規模なロマの強制立ち退きに取り組んでいます。

キミならどうする？

「イタリアあれこれ」「日本あれこれ」を通じて、どんなことを感じましたか？

また、上の差別問題を読んで、どんなことを感じますか？

自分との違いがあったとき、自分に何ができるか、自分はどうするべきか、どうするのがよいのか、考えてみましょう。

「イタリアあれこれ」解説

1. イタリアの朝食は、ビスケットと飲み物だけで軽くすませます。10時ごろになるとサンドイッチなどの軽食を食べます。学校でも10時のおやつがあります。昼食は日本より少し遅く1時過ぎから、夜ご飯は8時ごろからです。
2. エスプレッソ用の小さなカップに、スプーン2杯ぐらいの砂糖をたっぷり入れて飲みます。
3. 3月最終日曜から10月最終日曜まで、時計を1時間進めます。
4. 音をたてて食べるのはマナー違反です。
5. ハンカチで鼻をかみます。水に濡れた手を拭くときはペーパーを使います。
6. 人前で靴を脱ぐことをしません。家の中も靴のままです。
7. 挨拶には言葉だけではなく、握手やハグ、ほほにキスをします。男の人同士でも。
8. タバスコはアメリカ生まれ。イタリア料理には使いません。ピッツアに辛味が欲しいときは、唐辛子入りのオリーブオイルや辛味のあるソーセージなどを使います。(イタリア語では、ピザは「ピッツァ」といいます。)



イタリア人とBarの関係

Bar(バル)。それは、どの町にもある立ち寄り
コーヒー屋。

イタリア人にとってコーヒーは欠かせないもの。朝の
カプチーノから食後のエスプレッソまで、生活リ
ズムの中に組み込まれています。種類もたくさん
あります。そのときの気分で、飲みたいときに飲み
たいものを飲む。そんなイタリア人の希望に、さり
げなく応えているのがBarです。サンドイッチなど
の軽食類やお酒もおいています。

自分のペースで、自分の気分で、いつでも気軽に
立ち寄れるBarは、イタリア人にとって切っても切
り離せない存在です。

想像しよう、創造しよう、未来。

① 100年後のわが町のこと、4～6人のグループになって考えてみましょう。



① 100年後のわが町にあるといいなと思うものを考えてみましょう。
100年後、自分の大切な人(子ども、孫、教え子、友人など)が住んでいるとして、「誇りと愛着を持てる町」であるためには、何があったらいいでしょうか。まずは個人で書き出してください。
付箋1枚につき、1つずつ書いてください。

② 100年後の自分の町を考えてみましょう。
今の町にあるもので、未来に「残したいもの」「無いほうがいいもの」を比較表で書き出してください。
ただ物質的なものではなく、「誰もが住んでいて気持ちのいい町」であることを基準に考えてください。

③ 何があったらいいか、書き出したものを共有してみましょう。
各グループに模造紙を1枚ずつ用意してください。自分が書いた意見を1人ずつ読み上げながら貼ってください。
また、他のメンバーは、自分が似ている意見を書いていたらその付箋を近くに貼ってください。
どんな種類の意見があったか、分類してみましょう。似ている内容の固まりを線で囲み、タイトルをつけてください。

④ 「誇りと愛着を持てる町」をつくるために、今私たちは何ができるか、何をすべきかを考えて、「100年後の町のための7か条」を作りましょう!





文化財の保護活動

文化財の保護活動

イタリアは、世界文化遺産の登録数が世界で一番多い国。世界遺産に限らず、国内すべての文化財が国によって守られています。過去から引き継がれた文化財を自分たちの手で守ることで、遺産として各地に残され、その結果、世界中の人々をひきつける魅力を持つ国となりました。これらの文化財は、歴史的に貴重な遺産であり、イタリア人にとっての誇りでもあります。

<国の仕組み>

- ・文化財の保護や文化活動を促進する「文化財・文化活動省」がある。
- ・国の出先機関で保護の実務を行う「文化財監督局」がある。
- ・軍警察の中に、文化遺産に関わる犯罪を扱う部門がある。

イタリアの取り組み事例



アートによる都市再生 / ジェノヴァ市

イタリア北西部の港町ジェノヴァは、地元出身の建築家レンツォ・ピアノによる再開発がきっかけとなって生まれ変わった町です。古い建物は海洋博物館へ、荷物を運ぶクレーンはモニュメントへと姿を変えていきました。市は、「将来にわたって長く魅力的な町として生き残るためには、過去との絆を大事に守っていかねばならない」として、文化活動を大切にしています。また、NPO「A.R.C.I.(イタリア文化リクリエーション協会)ジェノヴァ」では、美術館でのアーティストの作品展示と地元ミュージシャンを結びつけるプロジェクトを実施し、地元の音楽家を育てるとともに、美術館離れていた若者をアートに引き寄せ、リピーターを生んでいます。

古いものを大切にし、新しいものを生み出す。様々な活動が市民の意識に変化をもたらしました。歴史的な建造物が多く修復され、それらは世界文化遺産に登録されています。

アグリツーリズムの展開

P11下段の一口コラムで紹介した旅の形「アグリツーリズム」。この事業の目的は、農地の荒廃を防ぎ僻地の活用を促す環境保護と、農閑期を観光業に関与させることにより土地所有者および農家の経済活動を活性化させることです。活動は活発で、農外の収入ではありますが、農家経済に大きく寄与しています。





ちょっとブレイク



イタリア人ってどんな人？ イタリア人の国民性

イタリアにイタリア人はいない??

それぞれの郷土愛「カンパニリズム」

「あなたは何人ですか?」と聞かれたら、何とこたえますか?イタリア人にこの質問をすると、「ローマ人だよ」などと町の名前でこたえるでしょう。

イタリアは1861年に統一されるまでは、都市国家の集りでした。大都市だけではなく、小さな都市にも独自の歴史があり、それらの名残は今でもいたるところで見られます。郷土料理が豊富であったり、各地に昔からの祭りがあるのはそのためです。それは人々の意識の中にも残され、みんな自分の町に誇りを持っています。初めての人と知り合ったら、まず「どこの出身?」と聞き合います。ローマの人は、イタリア人である前にローマ人なのです。



「人」という言葉がどの町にもあります。

<例>

町の名前	人(男性の場合)
ローマ	ロマーノ
ミラノ	ミラネーゼ
ジェノヴァ	ジェノヴェーゼ
ピサ	ピザーノ
ベルガモ	ベルガマスコ

さて、あなたは何人?

【カンパニリズム】とは、もともとは、鐘楼という意味のカンパーナという言葉。大聖堂と鐘楼は、町の中心であり象徴。遠くからでも見える鐘楼は、自分の土地への思い(郷土愛=カンパニリズム)につながります。

家族を大切にする(愛する)

イタリアにおいて、一番大切な集合体は「家族」。家業に従事する人が多く、大企業でも家族で経営していることが珍しくありません。

家族を大切にする、家族を愛する国民性ともいえます。

古いものを大切にする心

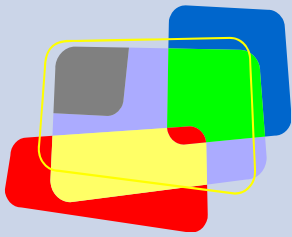


イタリアには石畳の道がいたるところにあります。石がくだけでも、時間とお金をかけて修復し、また使っていきます。道だけでなく、家や身の回りの物も同じ。古い家の外観はそのまま残し、内装だけリフォームして何年も住み続けます。靴やかばんも壊れたら修理して、ひとつのものを大切に、何年も使います。

中世からの美しい建造物が、今なお残されているのもうなずけますね。

 第4章

そして未来へ

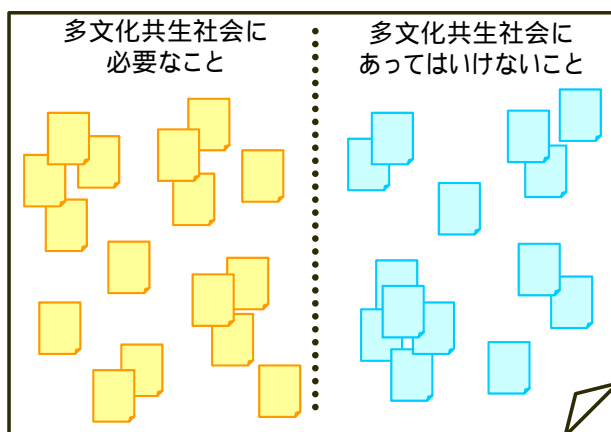


『多文化共生社会』ってどんな社会？

① その社会を実現するためにはどうすればいいのでしょうか？



- ① みなさんは、『多文化共生社会』ということばを聞いたことがありますか？
「多くの文化が共に生きる社会」というのは、いったいどんな社会でしょう？
「多文化共生社会に必要なこと」を黄色い付箋紙に、「多文化共生社会にあってはいけないこと」を青い付箋紙に書き出してみましょう。付箋1枚に1項目ずつ、できるだけたくさん書いてみてください。
- ② 4～6人のグループに分かれましょう。
各グループで模造紙を用意し、半分に区切ります。左側には「必要なこと」、右側には「あってはいけないこと」を貼っていきます。みんなの意見を共有するために、1人ずつ読み上げながら貼ってください。また、他のメンバーが似たようなものを貼った時はその近くに貼ってください。



- ③ 模造紙にまとめたことをもとにグループで「多文化共生社会とは……な社会」という文章をつくってみましょう。
- ④ では、そんな社会を実現するために、私たちにできることは何でしょう？
一人ひとり、A4の紙に「私たちにできること7か条」を書いてみましょう。
- ⑤ 一人ひとりがつくった7か条をもとに、グループで「多文化共生社会を実現するための7か条」にまとめ、右のように模造紙に書いてみましょう。
- ⑥ 全員で発表し、感想を話し合しましょう。

多文化共生社会とは	
な社会	
そんな社会を実現するための7か条	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

号外！号外！20年後の新聞です



20年後の地域と地球はどうなっているでしょう？
どうなっているといいでしょう？

みなさんは新聞記者です。20年後の明日発行する新聞記事を書いているところです。
20年後はどんなニュースが新聞に載っているでしょうか？だれにでもわかりやすいことばでまとめてみましょう。

- 1 まずは、グループで新聞名を決めましょう。
模造紙を横にして半分に区切り、
新聞名と日付を書き込みましょう。

20xx年 月 日	20xx年 月 日

新聞

- 2 20年後地域と地球がこんな風になっている
といいなと思うことを想像し、ニュース記事に
まとめてみましょう。模造紙の右半分に地域のニュースを、左半分に地球のニュース(あるいは、イタリアのニュー
ス)を書きます。

- 3 全員で発表し、感想を話し合ってみましょう。

- 4 さて、今の生活を続けていったとき、ニュースにまとめたような地域や地球が実現できると思いますか？
実現するために、自分がやろうと思うことを1つ決めて、グループで共有しましょう。

多文化共生社会

1990年の入管法改正により、主に南米からの日系人が多く日本に住むようになりました。近所や学校、職場に外国籍の方がいるのがあたりまえの状況の中でことばの問題、文化・生活習慣の違いからくるトラブル、子どもたちの教育問題、近年の経済悪化による雇用の問題などさまざまな課題が生じています。そうした課題に取り組む中で目指しているのが、「多文化共生社会」の実現です。この「多文化共生社会」とは、「国籍にも、性別にも、年齢にも、障害の有無にも関わらず、すべての人が暮らしやすい社会」と位置づけられています。愛知県が2008年にまとめた「多文化共生推進プラン」では、愛知がめざす多文化共生社会を「国籍や民族などのちがいににかかわらず、すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせ活躍できる地域社会」としています。そうした社会を実現するために、2006年には、総務省から各自治体に向けて「地域における多文化共生推進プラン」が出されました。その中では、特に外国籍住民も暮らしやすい社会を創るために、次のようなことに取り組んでいくと書かれています。

コミュニケーション支援

多言語による情報提供、相談窓口の設置、日本語学習の支援など

生活支援

入居差別の解消、教育にかかる情報提供、進路指導、就業支援、就業環境の改善、外国語対応可能な病院・薬局等の情報提供、医療通訳者の派遣、健康診断・健康相談の実施、高齢者や障害者への対応、災害時の通訳ボランティアの育成、災害時の情報の多言語化など

多文化共生の地域づくり

地域住民への啓発、多文化共生の拠点づくり、外国籍住民の地域社会への参画推進など

地球的課題(グローバルイシュー)

一国では解決することが難しい、人類共通の課題を「地球的課題」「地球規模の課題」「グローバルイシュー」といいます。大きく分けると4つ、これらの課題は、包括的かつ相互的に関連しています。

地球環境

先進国の経済成長などに伴うオゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨、砂漠化、海洋汚染、ごみ問題、野生生物の絶滅など地球規模で発生している課題です。

貧困と開発

南北問題に伴う貧困、それによる食糧不足、飢餓、衛生面での問題、教育の問題、児童労働など子どもや女性など弱者にかかる問題、持続可能でない開発による環境破壊など、地球規模の構造的な課題なので、途上国だけでは解決できません。

平和と安全

核兵器や生物化学兵器など、国境に関係なく被害を及ぼす兵器の根絶、テロの問題、地域紛争の解決と平和維持、児童兵士の問題などです。

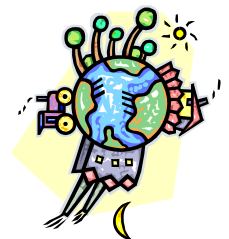
人権

民族差別や紛争などにおける難民の問題、貧困と開発のために過剰な労働を強いられる女性や子どもの問題、人間として最低限必要なものさえ保障されない極度の貧困の問題などです。

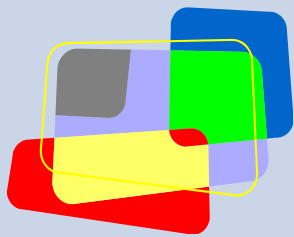
地域の課題と地球の課題はつながっている ~「持続可能な」社会を創るため~

地域の課題と地球の課題は別のもと考えてしまいがちですが、だれもが暮らしやすい「持続可能」な社会を創るという意味では共通しています。また、地域の課題を解決していけば地球の課題の解決にもつながりますし、地球の課題を解決しなければ、地域の未来もないのです。

地域の課題も地球の課題も「だれかが解決してくれる」ものではありません。途上国の多くの課題も原因を突き詰めていけば、わたしたちの日常生活につながってきます。わたしたち一人ひとりが地球の一員として、地域の一員として、自分の問題として、解決に向けて取り組んでいかなければ、次世代に課題を持ち越してしまうことになるのです。



参 考 资 料



目で見えるイタリア



1796年、ナポレオンはフランス三色旗の青を緑に変えた旗をイタリアの国旗として承認します。1861年、サルデーニャのヴィットリア・エマヌエレ2世によるイタリア王国成立の際、国旗は三色旗に王家の紋章がついたものになりましたが、1948年紋章が取り除かれました。3色は、自由・平等・友愛を表しています。

●人口●



5,805万人(2007年国連統計)



128百万人



●面積●



301,000km²

(日本の約5分の4)



377,887km²



●言語●

イタリア語

地域により独・仏語等少数言語あり

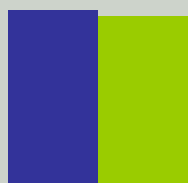
●宗教●

キリスト教(カトリック)が国民の約97% その他、キリスト教(プロテスタント)、ユダヤ教、イスラム教、仏教

●気候帯●

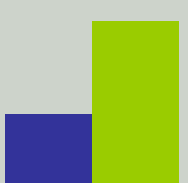
南部:地中海性気候
北部:温暖湿潤気候
西岸海洋性気候

●平均気温●



ローマ 15.6
名古屋 15.4

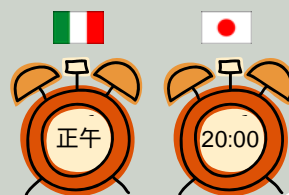
●年間降水量●



ローマ 716.9mm
名古屋 1565mm

●日本との時差●

- 8時間



国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken) 人口・面積・首都・民族・通貨:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 日本の人口:世界子供白書2008(ユニセフ) 日本の面積:総務省統計局「日本の統計」 気候帯・平均気温・年間降水量:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 名古屋の平均気温・年間降水量:気象庁観測部観測課観測統計室「日本気候表」(S46~H12年の平均) 言語・日本との時差:世界の国一覧表(財団法人世界の動き社)

●主要産業●

機械・繊維・自動車・鉄鋼



●日本との貿易主要品目●



バッグ・医療品・履物
乗用自動車



乗用自動車・オートバイ
カメラ・ビデオカメラ・エンジン

●一人あたりのGNI●

32,020米ドル(2006年世銀)



38,410米ドル(2006年世銀)



●在留邦人数●

11,322人(2007年)

●在日イタリア人数●

2,268人(2007年)



●出生時の平均余命●

59年

82年



●5歳未満児の死亡者数●
(出生1000人あたり)

2人(2006年)

4人(2006年)



●都市人口の比率●

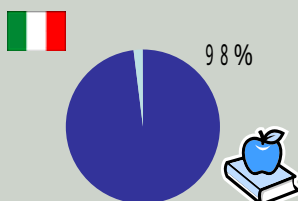
68%(2006年)

66%(2006年)



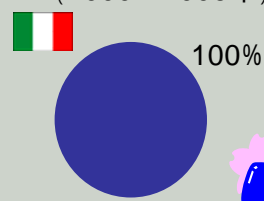
●成人の総識字率●

(2000~2005年)



●初等教育純就学/出席率●

(2000~2006年)



●人口増加率●

(1990~2006年)

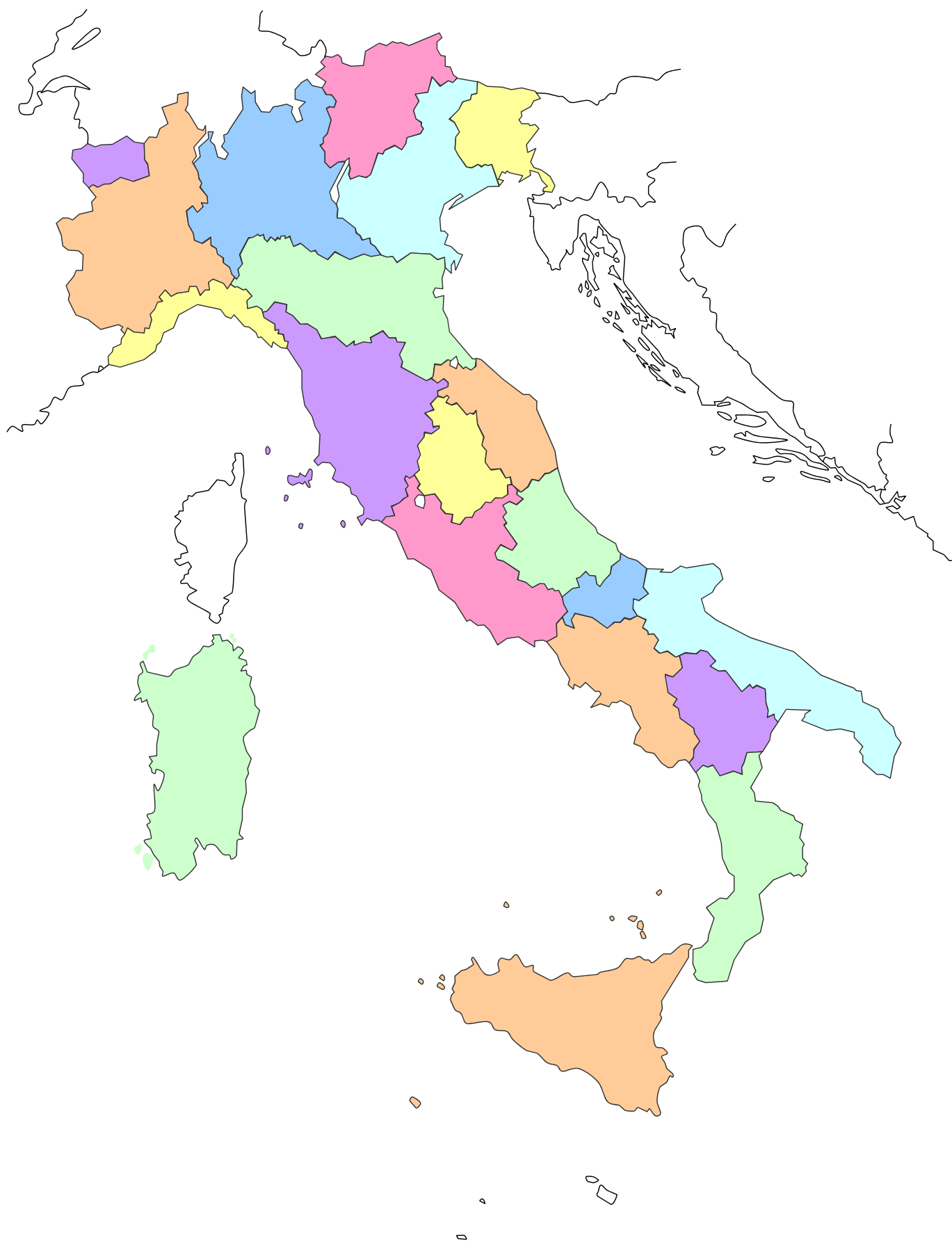
0.2%

0.2%



主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日当該国人数・外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・成人の総識字率・初等教育純就学/出席率・人口増加率・世界子供白書2008(ユニセフ) 成人の総識字率:ナショナル・ジオグラフィックウェブサイト

イタリア地図





「イタリアってこんな国」ふりかえりシート

位置は？地形は？気候は？



こんな所がある



人々はこんな生活してる



イタリアってこんな国



イタリアの素敵なおとこ

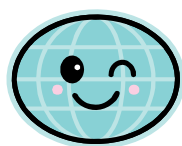


イタリアから学ぶこと



「地球の未来を創る」シート

多文化共生社会を実現するために



「地球の未来を創る」ためにしたいこと

地球の課題を解決するために





参考文献・データ等の出典

- 外務省 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
 外務省「探検しよう! みんなの地球」
 総務省統計局「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
 財団法人日本ユニセフ協会 <http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
 イタリア政府観光局 (ENIT) <http://www.enit.jp/>
 ヴァッレ・ダオスタ・ジャパン <http://www.valledaosta-japan.com/>
 林野庁「世界の森林面積」 <http://www.rinya.maff.go.jp/toukei/toukei.html>
 社団法人日本ユネスコ協会連盟 <http://www.unesco.jp/>
 東京都板橋区立美術館 <http://www.city.itabashi.tokyo.jp/art/>
 LINK JAPAN s.r.l. <http://www.linkjapan.it/simaitosi.htm>
 TRENITALIA <http://www.viaggiatreno.it/viaggiatreno/vt.html>
 『アート戦略都市 - EU・日本のクリエイティブシティ』
 国際交流基金「ジャパンファウンデーション」編 鹿島出版会
 『アムネスティ・レポート 世界の人権2008』
 「アムネスティ・レポート 世界の人権」編集部著 アムネスティ・インターナショナル日本
 『イチバン親切なイタリア料理の教科書』川上文代著 新星出版社
 『絵本 世界の食事[4]イタリアのごはん』銀城康子著 農山漁村文化協会
 『きみにもできる国際交流[18]イタリア・ギリシア』こどもくらぶ編・著 偕成社
 『地球の歩き方GEM STONE[023]ヴェネツィア』篠利幸著 ダイヤモンド・ビッグ社
 『世界各地の暮らし[27]イタリアの暮らし』渡辺一夫著 ポプラ社
 『ナショナルジオグラフィック 世界の国イタリア』ロバート・アンダーソン著 ほるぷ出版
 『目で見る世界の国々[51]イタリア』コリーン・ゼクストン著 国土社

ご協力いただいた方たち【敬称略】

丹羽由美子(イタリア語講師)

堀川絵美(イラストレーター)



2008年度教材作成チーム

一宮市 田原市

長久手町 幸田町

扶桑町



特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 イタリア共和国 

2009年3月

発行 愛知県

**企画
編集** 財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-8746 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷 株式会社丸和印刷

